

【基本情報】

クラブ名	藤枝 MYFC		
活動テーマ	ポスター配布を通じた地域の方との交流機会の創出		
実施場所	藤枝市内 商店街		
活動部署	広報、営業、ホームタウン、マーケティング、総務		
参加者	大森慧斗	河本大雅	閑田隼人
	栗栖汰志	ジョーンズレイ	中村涼
活動期間	2025 年 8 月 28 日(木)		

【活動報告詳細】

■活動目的

- ・選手と地域の方との触れ合い機会を創出
→身近に感じていただき「応援したい」という気分を醸成、スタジアムへの来場を促進する
- ・選手が参加することによりメディアバリューを担保し取材誘致を促進
→参加選手自体のPR、クラブが行うホームタウン活動の価値を訴求する

■活動内容

- ・(選手2名+フロント2名)の3グループに分かれ市内商店街(藤枝市内)を回り後半戦ポスターを配布、掲出を促進した。
- ・選手自身やクラブのことを身近に感じていただけるよう、各店舗のスタッフや道を行き交う地域の方と積極的に会話をするなど交流した。
- ・取材(静岡新聞)を誘致したことで、選手がメディア対応の経験を積む機会にもなった。

■選手コメント

大森慧斗選手

藤枝 MYFC というクラブを更に大きくしていくために今回の活動は必要だと感じました。ポスターを配った方々が応援に来てくださることもあるし、ポスターを見てスタジアムに足を運んでくださることもあるため、継続して活動を行っていきたい。

河本大雅選手

今回の新人研修を通して普段藤枝 MYFC を応援していただいている地域の方々とは交流できてすごく楽しかったですし、人との関わり方の勉強にもなりました。楽しかったことは、ポスターを貼る時や挨拶をさせていただいた時に地域の方が笑顔で話してくれたことや、初めて見るお店などを知れたことです。勉強になったことは、地域の方々との関わり方やどうすれば今後もっと藤枝 MYFC を応援してもらえるかを考えながら交流することを学ぶことができました。

閑田隼人選手

選手と地域の方が交流する場で積極的に会話をすることができました。ホームタウンでの活動を行うことで選手のPRも同時にできたので良かったと思いました。機会を作っていただきありがとうございました。

栗栖汰志選手

今回の活動を通じて地域の方々と関わることであったことによって、クラブ、そして自分自身がプロサッカーチーム、プロサッカー選手として支えられているんだということを今一度感じる事ができた。また、身近にMYFCを応援していただいている方々、サポーターは多くいるんだと感ずることができました。その支えを力にさらに力をつけたいと思いました。

ジョーンズレイ選手

今回このような活動を行い、地域の方々に応援してもらっているということを改めて感ずることができました。地域の方々にお会いすることは普段あまりできることではないので、このゆおうな経験はとても大切だということを感じました。また、サポーターや応援くださるパートナーの方々とコミュニケーションを取ることで、頑張る活力になりました。この経験を活かしてさらにサッカーを通して勇気や笑顔を届けられるように頑張りたいと思います。

中村涼選手

今回の活動を通じて地域の方々と交流することができ、改めてとても応援してもらっているのを感じることができました。この機会を機に自分自身今までいじょうに頑張っていこうと思うことができましたし、もっと多くの人たちに藤枝MYFCを知ってもらいたいと感じました。

■活動写真



【基本情報】

クラブ名	藤枝 MYFC		
活動テーマ	ホームタウンの産業課題について学ぶ、波乗りレモンの販売促進		
実施場所	祝寿農園		
協働団体	藤枝 MYFC	牧之原市スポーツ推進課	祝寿農園
参加者	閑田隼人	ジョーンズレイ	中村涼
	河本大雅	大森慧斗	栗栖汰志
活動期間	2025 年 10 月 9 日(木)14:00～15:00		

【活動報告詳細】

■活動目的

静岡県牧之原市は日本有数のお茶の産地として知られています。しかし近年、高齢化による担い手不足やお茶の需要低下などにより、荒廃茶園の増加が課題になっています。そこで、荒廃茶園をレモンの畑に転換し新たな国産レモンのブランドとして打ち出す『波乗りレモン』プロジェクトが始まりました。新人選手にはホームタウンの産業課題を知ること、波乗りレモンの認知拡大・販売促進への意識づけを行いました。

■活動内容

- ・ホームタウン牧之原市にて波乗りレモンの収穫体験
- ・波乗りレモンの実食、試飲
- ・波乗りレモンや地域産業について質疑応答
- ・活動に伴うメディア取材対応(TV2局、新聞2紙)

■選手コメント

ジョーンズレイ選手

今回レモン収穫体験をして、今まではレモンというとスーパーでしか目にすることはなかったのですが、初めて木になっているレモンを見ました。農家の方はレモンを育てるうえで大変なことは無視と病気と言っていて、少しのことで売り物にならなくなってしまう大変さを知りました。自分たちが知らなかった牧之原市でレモン栽培、というイメージをこれから広げていきたいです。

中村涼選手

今回のレモン収穫体験を通して、普段やることのないことをし、自分自身の良い体験になりました。ホームタウンである牧之原市のためにも自分たちのプレーで元気づけ、地域の課題に対して自分ができることは取り組んでいきたいと思います。

河本大雅選手

レモンの収穫体験をしてみて 10 分間という短い時間でしたが、すごく大変だなと感じました。農家の方々は 1 日で 800kg のレモンを収穫することを知りとても驚きました。ホームタウン含め、地域の課題に対して僕ができることは積極的に取り組んでいきたいと思います。

大森慧斗選手

今回レモンの収穫体験をホームタウンである牧之原市で行ったが、このような体験ができたことを嬉しく思う。自分の所属チームのホームタウンでの活動を増やすことで応援されるチームになっていくと思うし、引き続きこのような活動に参加していきたい。

栗栖汰志選手

今回ホームタウン活動で普段体験できないようなレモン収穫を行えてとても新鮮な感覚でした。お茶の需要の低下により、荒廃茶園が増加する中で、そこをレモン収穫の土地にするという発想に驚かされました。今回のようにホームタウンに触れることでさらに地元のことを知っていききたいと思いました。

閑田隼人選手

レモン農家さんの話を聞いてレモンについていろいろなことが知れました。試食やレモンが入ったお茶を飲ませていただきレモンの美味しさを感じることができました。ホームタウンの方々との交流を楽しむことができてよかったです。

■活動写真

